

令和8年

建設文教委員会

5月15日

豊明市議会

建設文教委員会会議録

令和8年5月15日

午後1時05分 開会

午後2時07分 閉会

1. 出席委員

委員長	青木 けんじ	副委員長	浅井 たかお
委員	郷右近 修	委員	月岡 修一
委員	一色 美智子	委員	毛受 明宏
委員	ふじえ 真理子		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	塚田 力	議事課長	水野 美樹
議事担当係長	矢野 佑輔	議事課主査	井口 真奈美

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	小串 真美
経済建設部長	星子 恭士	土木課長	外山 紀元

5. 傍聴議員

岡島 ゆみこ	鈴木 智和	中堀 りゅういち	こんどう のぶお
服部 龍一	武谷 としお	林 ゆきひろ	三浦 桂司
堀内 ちほ	清水 義昭		

6. 傍聴者

一般傍聴者 3名

午後1時5分開会

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ただいまより建設文教委員会を開会いたします。
会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。

本日の建設文教委員会に付託されました案件は2つの議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ありがとうございます。

議長は欠席されておりますので、議長挨拶は割愛させていただきます。

これより会議を開きます。

ここで、お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退室願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも、意思表示を明確にされるようお願いいたします。

事前に提出いただきました資料請求書についてお諮りします。議案第28号及び29号に係る資料請求が、浅井委員から資料請求ありました。浅井委員より、資料請求の趣旨説明をお願いします。

○浅井たかお委員 この議案に、議案を審議するのに必要な契約書の資料とか写真をやはり見ながら、併せて審議をする必要があると思って請求をしましたので、よろしくお願いいたします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長とお呼びするところを、すいません、

失礼いたしました。

当局において資料は用意できますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 資料要求書におけます議案第28号、29号につきまして、国庫補助事業 防災調整池設置工事に係る工事ヤード、1つ目の丸、設計時試掘箇所①、②、③、④の報告資料、写真資料につきましては御用意できます。

2つ目の丸、工事発注時試掘箇所⑤、⑥、⑦の写真資料につきましては御用意できます。

3つ目の丸、勅使グラウンド造成当時の契約資料、工事の詳細が分かる資料、こちらは御用意できません。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） お諮りします。本委員会として資料請求することに賛成の方の挙手を求めます。

すいません、確認いたします。よろしいでしょうか。

改めまして、本委員会として資料請求をすることに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 賛成多数です。当局においては速やかに資料の用意をお願いします。

時間的に、準備のほうは、時間はございますでしょうか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 電子データでしたら、すぐ御用意できます。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） では、準備できるまで暫時休憩という形で取らせていただきます。

じゃ、準備をお願いいたします。

午後 1 時 9 分休憩

午後 1 時 12 分再開

○建設文教委員長（青木けんじ議員） では、皆さんよろしいようですので、休憩を解き休憩前に引き続き会議を進めます。

議案第28号 工事請負契約の変更について（国庫補助事業 防災調整池設置工事）と議案第29号 令和8年度豊明市一般会計補正予算（第2号）については関連がありますので一括議題といたしたいが、これに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 御異議ありませんので、議案第28号と議案第29号を一括議題といたします。

理事者の説明、質疑、討論は一括して行い、採決は議案ごとで行います。

議案第28号と議案第29号について、理事者より簡潔に説明を求めます。

外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） それでは、議案第28号 工事請負契約の変更について説明いたします。

下記のとおり工事請負契約を変更するものでございます。

工事名は国庫補助事業防災調整池設置工事。

工事場所は豊明市杵掛町勅旨地内。

工事の概要は、勅使グラウンドの地下に貯留容量5,500立方メートルの防災調整池を設置する工事です。

請負契約金額は変更前4億2,669万円、変更後4億9,747万3,900円、7,078万3,900円の増額です。併せて契約期間の変更を行い、工期末を令和8年7月10日完了から令和9年3月15日完了に変更いたします。

請負契約者は豊田市青木町四丁目35番地2、株式会社成瀬組、代表取締役は成瀬夢路登です。

この案を提出するのは、工事の設計変更に伴い、工事請負契約を変更するため必要があるからです。

以上で説明を終わります。

続けて……。

続きまして、議案第29号 令和8年度豊明市一般会計補正予算（第2号）につきまして、歳出より説明いたします。

補正予算書5ページをお開きください。

8款3項1目 河川改修事業の右側説明欄、防災調整池設置工事費2億869万6,000円は、令和7年度に発注し、契約履行中の勅使グラウンドでの国庫補助事業 防災調整池設置工事を進める中、地中に廃棄物が混合していることが判明し、廃棄物処分を適正に完了するために、必要な数量、設計金額を算定し、令和8年度における追加工事を発注するために必要な予算を計上するものです。

説明欄2行目の移転補償費209万7,000円は、工事を行うに当たり、施工区域内で水道管の本管、こちらが支障となることが分かり、移転補償費を新規計上するものです。

続いて、歳入について説明いたします。

補正予算書４ページを御覧ください。

18款１項３目の公共施設建設及び整備基金繰入金１億5,600万円は、防災調整池設置工事に充当する基金です。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 工事の様子や現地の様子をよく知りたいので伺います。

ここの場所を掘って目的のものを埋めて、さらにその上に土をかけて元のような状態にするという工事だと思うんですけど、もともとの予定していた深さの、一番地表面はもともと使っていた状態はこんな性質のものじゃないんだろから、どれぐらいの深さのところからこういう状態になっているのかとかいうのは分かりますか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁を願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） がらが混入していた層の深さということだと思いますが、地表から55センチぐらい掘ったところから、一番下までは３メートル掘るんですけども、その間に局所的に、面的にがらが混入されていることが分かりました。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 もともと予定していた深さのところまでで終わらずに、もしかするとそれ以上深いところまでこのような状態なのかどうかとかというのは、何か分かるものなんでしょうかね。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 試掘の結果では３メートルほど、今回掘削と同じほどの試掘をしておりますので、それ以降というのはそういった確認はしておりません。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 だと、見つけたからといって際限なく、今の法律の何か基準だとよろしくないものが埋まっているのを見つけたら、もう全部除去しなきゃいけないみたいなこ

とではないということなわけですね。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 我々が掘り起こした、排出事業者として出したものについては、適正に処分しなければいけません。既に埋まっているものはその限りではないです。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 まず、勅使グラウンドの敷地内なので、水道管は確認しないということでは先ほど本会議場で答弁がありましたが、道路工事でも支障となる水道管や下水管は事前に調べておくはずですが、なぜ今回はそこを調べなかったのか。調査が漏れていたのではないかというちょっと疑いがあるんですが、どんなものでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委員がおっしゃるとおり、道路上でしたら占用物として水道管が登録されておりまして、事前の調査はいたします。今回も施設内、道路ではございませんが、施設内につきましては、配管については調査しましたが、道路ではございませんし、宅内配管と同じような扱いで考えておりました。ただ、本管が施設内に走っておったものですから、支障となることが判明しまして、支障移転の補償費が発生しております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連なんですけれども、そういった図面とかはないんでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 道路内ではございますが、施設内のものはちょっと確認できておりませんでした。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

月岡委員。

○月岡修一委員 私が議員になった当初から、もう三十何年前から、いろんな方から、このグラウンドは相当いろんなものが埋められているよということは聞いておりました。

少年野球で使わせていただいているグラウンドですから、いろんな方がいろんなことを知っていて、ひょっとしたら車も入っているかもしれないと。

今回3メートルまで掘れば、基本的な工事ができるという趣旨かなと思うんですが、でも、掘れば掘るほど異常なものは多分出てくると思うんです。ですから、あまり深く掘らずに、仕事をするに差し支えのない深さでとどめておかないと多分切りがないと思います。昔のことを知っている人は、この池は結構深かったですよということを教えてくれたので、そういった深い池に、夜な夜ないろんなものを捨てに来ている人がいたらしいので、先人の方がそういうことをして、今の市の職員の方がその後始末をしなければいけないという、本当不運な立場かもしれませんが、深さが、掘れば掘るほど多分水は出てきてしまうと思うし、もう十分固まっているような、写真で見ると、そのようなふうに思えるので、必要なものを出す、出したらもうあと地盤を固めて、直接施工に支障のないような土壌をつくったら仕事をする。そんなことが一番いいのかなと思うんですが。

ただ、1つお尋ねしたいのは、5,500立方メートルという数字が出ている以上は、それに近い、またそれ以上なのかもしれませんが、そういう施工をすると思うんです。これはわかりかし簡単に、思っている以上に、写真ではいろいろな部分とか写っていますけど、現状掘ってみたら案外簡単に掘れちゃったなと。そう思ったほど岩とかがらが少なかったなというようなこともあるかもしれない。そういった場合は多少日数も短くなり、施工上の設計、積算でいけば安価に終わるということになってしまうんですけども、そういった場合の再見積りというか、契約変更なんていうものは考えていらっしゃいますか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 29号の補正の部分になると思うんですが、これから発注する際には設計しますが、契約して工事を進めるに当たり、数量が確定してきましたら、もちろん決まった数字で変更していきたいと思っております。

以上です。

（先ほど申し上げたようにの声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 すいません。

今、大体写真で見ると3メートルぐらいの深さになっているわけですけど、それ以上は掘らないということで施工していくということで考えてよろしいですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すいません、もう一度お願いいたします。

（3メートル以下までは掘らないということによろしいでしょうかの声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 掘削、深掘りは3メートルまでです。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 そのほうが無難かなと思いますね。何が入っているか分からないと先人が言ってみえるので、本当に掘れば掘るほど不思議なものは出てくる可能性ありますので、もう3メートルまで掘ったら、あと地場を固めて、もう次の施工に移るといようなことをしていかないと切りがないと思いますので、その辺、割り切ってやってください。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 この変更契約の、金額的には大きいなと思うんですけど、工期のことでちょっとお聞きしたいんですけど、これ、令和8年の7月10日、今年の夏前から翌年度の年度末までということになるんですが、これはもう単純に、がらとか、水道管を移設ということで、単純にこの日数だけ増えたということでもいいですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 目的物は調整池を造る工事でございますが、増えたのはそのとおりでございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 ちょっとお伺いします。

これだけの廃棄物が出てきたことに対して、住宅地域ではないんですけども、近隣住民のほうには説明のほうはどういうふうに、されるのかされないのか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） このがらが出てきたことについては説明しません。汚染物質ではないものですから、説明はいたしません。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 市の調査設計の委託のときに、これ見ると、今は1、2、3、4、4か所が3メートル四方ほど、ボーリングというか試掘をしたということでお話がありましたけれども、何か最初の試掘のときに、真ん中辺を掘らなくて、端っこのほうだけを掘っているのです、何かそういった意図的なものが何かちょっと感じられてしまうのですが、そういったことはないんですか。なぜこの端っこのほう、4か所だけしか掘らなかったのか、入ってなかったのか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 試掘の箇所という事でよろしいですか。
（はい、そうです、はいの声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） なるべく広範囲でやっておりますが、グラウンドを利用していることもありまして、限られた場所になりますけれども、なるべく広範囲では試掘しております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。
浅井副委員長。

○浅井たかお委員 今のこの試掘、最初の設計時試掘のところでも3メートル四方を掘ったということでよろしいですかね。確認なんですけど。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） そのとおりでございます。
以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。
浅井副委員長。

○浅井たかお委員 では、この土質調査、それから試掘のとき、そのときには市の職員の方は立ち会っておられましたか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 写真にも写っておりますが、当時の担当が立ち会っております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。
一色委員。

○一色美智子委員 参考資料の議案第28号、29のこの図なんですけども、ここに日にちが書いてないんですよね、いつ分かったかとか、いつ調査したのかという。これがちょっと

分かれればお聞かせください。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） これは私どもも立ち会っておりまして、令和８年３月27日に撮った写真でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 これは元の所有者は、調べれば分かると思うんですけど、その人たちは、関係ないかといえは関係ないですけど、埋まっているということは分かってるということで認識してもいいんでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 当時のことはちょっと分かりかねます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 では、勅使グラウンド、この工事が長期化することによって、勅使グラウンドが使えなくなる期間が延びるんですけど、一部、そのときに指定管理者への補填はあると思うんですが、それはどれくらいの積算になるか、計算は今されておりますでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁できますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらではちょっと積算しておりませんが、３月精算時に発生するということはお聞きしております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 補正予算の金額について、産廃処理の単価のことなんですけど、落札後の金額で契約金額を算定すると、今後のことですね、なぜ最初の契約単価で補正予算を組まないのかというちょっと疑問があって質問するんですけど、これ、なぜ単価が違ってきってしまうんでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらはあくまで設計金額ベースでございます。これから発注すると、請負率がかかってくるという形になります。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長。

○浅井たかお委員 すいません、もうちょっと具体的にというか、詳細を当局の方は御存じなんですけど、こちらはちょっと全然その辺が分からないので、もう少し詳しく教えてほしいんですが。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 議場での回答の繰り返しになるかもしれないですけども、（１）の変更契約のほうにつきましては契約金額ベースです。設計金額に請負率がかかっております。今回、補正予算につきましては設計金額でございます。まだ契約は発注しておりませんので、設計金額ベースで予算を組ませていただいております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 現状の物価等のことも勘案されているということによかったでしょうか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 設計する際に当たりましては、最新の単価を使ってになります。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長。

○浅井たかお委員 では、実際のところは、単価が世間的に上がっているからこういう試算をしたという、そういうふうで受け取っていいですか。違いますか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 設計単価というのは、単価の上昇分はありますけども、今回は数量が大幅に出てきた、種類も増えたということで、廃棄物の処理の費用がプラスになったという部分でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 確認を１つしようと思っていて、以前、このグラウンドの表面の土の

入替えをする事業があったと思うんですけど、そのときにはこういった深さまで何か施工することはなかったので、そのときには全然分からなかったという、そういうことですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委員がおっしゃるとおりです。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ちょっと何点かお尋ねします。

今回参考資料を頂きまして、この試掘箇所が番号があります、①、②、③、④。で、工事発注時の試掘箇所として⑤、⑥、⑦ということで、全部で7か所、先ほどの説明だと3メートルを試しに掘った。で、右側の表みたいところに、今回の増額の内訳の表があるんですけども、当初の数量のところ、コンクリートがらの運搬処理は当初の数量で28立米というふうになっております。同じそこの一番下の欄、今回の変更契約と補正を合わせると、コンクリートがら運搬処理で1,535立米という予測を立てて、非常に、計算したら54倍の量がコンクリートがらで運搬処理に出てくるよというふうなんですけれども、7か所試掘をしたにもかかわらず、これだけの差、28立米が、例えば50立米になるとか、100立米ぐらいならまだしも、1,535立米という膨大な差があり過ぎるかと思うんですが、これ、試掘にかかった費用というのは今分かりますか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁できますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ①、④をやったところで49万5,000円の試掘代がかかっております。あと、5番ですと18万7,000円の委託費がかかっております。6、7につきましては、請負業者で自主的に試掘しております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ちょっと分かりにくかったんですけども、要は、これだけ本会議質疑でも触れられていたんですが、設計委託料ということで、過去の会議録を見ると、防災調整池詳細設計で3,400万ほど、その前年度には基本設計、これ、井堰川全体の配水区の設計になりますけれども、2,600万という大きな金額で設計委託を出しているわけです。

で、今回試掘をしました。当初より、これだけの差のあるがらが出てくる。私からすると、試掘調査が甘かったんじゃないかなというふうに思うわけです。確かに掘ってみなきゃ分からないものもあるでしょうが、あまりにも当初契約の数と今回の議案で出てきてい

る変更と補正合わせた部分で、金額で足したら1億5,000万、コンクリートがら運搬処理で費用が1億5,000万ほど今回の内訳で費用計上をされて提案されているわけなんですけれども、設計業者への責任、本会議場では設計のほうでの責任はない、考えてないというような御答弁あったんですが、これ、本当にそういうふうにお考えですか。内部でこういった設計業者との交渉、これだけの設計委託料を払ってやっていただいているにもかかわらず、あまりにもおかしくないですか。その辺は、設計業者に対する責任を問うということについてはどういうふうに、もう一度、お考えでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 工事前の試掘につきましては土木業者に依頼しておりまして、点で行う試掘、こちらにつきましては、掘削、一部を掘削するという調査では技術的な限界がございます。今回、面で掘り進めるに当たりまして、そういった作業によって明らかになった廃棄物が出てきたというところで、不可抗力的なものと考えております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど月岡委員のほうでも御発言があったんですけれども、この沓掛の北部のこちらのエリアはがらが埋まっているという、地元の方であったり、職員のOBの方であったり、みんな御存じの方もいらっしゃるわけです。

で、問いたいんですけれども、これだけの設計委託料を払っているにもかかわらず、そうしたポイントポイント、4か所、設計時には試掘をしました。でも、がらの出る予想は28立米でした。いやいや、やっていったら1,500立米も出てきそうですということに対して、試掘、市から、ここには何らかのがらが埋まっている、その深さは分かりませんが、そういった試掘の指示、そういったものが埋まっているということを前提にした発注者側からの依頼というのはしなかった、なかったわけでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） もちろん当初から算定してあげれるのが一番よかったと思うんですけれども、確認困難な事項だったと考えております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、市は施工の管理料というのは払っているんですか。施工管理料。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらはございません。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうすると、試掘の責任というのはどなたになるわけですか、責任は。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁できますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらの依頼した委託でございますので、責任というのは業者にはないと考えております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど副委員長のほうの質問でもあったんですけども、こういった、今回工事を始めてたら出てきたよと。コンクリートがら、また廃棄物まじりの土ですけども、現地の確認というのは、職員の方で、どのぐらいの頻度でその量というのを確認に出られているんでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 担当は、廃棄物だけじゃないですけど、工程の管理等で、1週間に1度程度、現場には確認しております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、本会議質疑でもありましたが、その他一式のところでは670万3,400円という概算の金額が変更契約の内訳に出ております。そこでの御答弁が、いろんな、門扉の下をくぐるから門扉を撤去することにしたということで、私も現地、見てきました。これこそ設計の段階で分かることなんじゃないですか。重機が入る大きさだとかそういう。何で今、そういう請求がされるされてくるんでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 門扉５メートルほどありまして、開けて取り外しまでは当初設計で見てなかったんですが、現場精査の結果、取り外す工事を追加いたしました。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 それは、ごめんなさいね、その門扉、フェンスみたいなのを取り外しただけで670万なんですか。もうちょっと内訳を、ごめんなさい、一式の内訳を。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 取り外し、最終的に復旧するんですけど、それは130万ほどの概算金額でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 なので、取り外しと復旧で670万円余だよと。その670万の内訳をもうちょっと。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 670万円の中の560万円ほどは発生土、出た土を他現場で使おうと考えていたものが、土質によりまして自由処分する必要があったというところで、これが560万円ほどの概算でございます。あとは軽微な減額になったもの等もございますが、鉄筋の量が見直したととか、大きなものはそういったところでございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 鉄筋の量というのは、どこの何の、どこの鉄筋ですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） コンクリート構造物、グラウンド出たところに堆砂施設といまして、水路から水を引く施設がございますが、そちらの荷重条件をちょっと見直して、こちら、減額なんですけど、40万ほど減額というものが出ております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、29号のほうの水道管のほうで確認したいんですけども、今

回、移転補償費で209万7,000円ということなのですが、この工事の平面図、出していただいた参考資料の図面で、支障水道管と、工事の中身を知りたいんですけども、このプラスチック製の高さ1メートルの箱を土に埋めるよと。で、豪雨が降ったときに雨水を一時的に、一気に下流に行かないようにここでためるよと。それを排水、その水槽から出ていくところと、この水道管がバッチェングするということなんですか。今回この移転補償が必要な理由を、もう少し詳細に説明してください。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） おおむね委員のおっしゃるとおり、堆砂施設、コンクリートの施設を造るのに水道管が当たるというところで、一部撤去が必要になっております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 この水道管というのは口径どのぐらいなんですか。すごく大きいものなんですか、それとも。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 75ミリですので、75ミリの塩ビ管でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 この水道管が埋設されている深さというのは、地表からどのぐらいの高さなんですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 土かぶりが1.2という基準で入っております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 3メートル掘って、その3メートルのところに水槽、プラスチックの貯水池がある。で、地表から1.2のところに水道管が走っている。で、プラスチックの箱、大きな箱から下流に流す段階のときのものは、下から3メートルか2メートルの間の1メートルのところだけですよね。何かポンプアップして排水するんですか。単純で、ちょっと素人であれなんですけど、排水、高さ1メートルのプラスチックの大きな槽を地中に埋めるよ、3メートルの深さにどんと埋めるよということは、そこから排水するのは、地表から2メートルから3メートルの高さの、1メートルのところが排出するんであれば、水

道管が地表から1.2のところに走っているのであれば支障がないのかなというふうによく思うんですが、その辺、説明をお願いします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 掘削3メートルというのはございますけども、ベースのコンクリートを打ったり、水路、水を取り込む水路自体は1.86の高さでございます。ですので、水を引き込むところというのは1.5メートルぐらいのところに取り込むところも入ってきますし、出るところもおおむねその水路の高さの中の位置になっております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうすると、3メートル掘ったよ、1メートルの高さの箱を入れるよ、で、上に2メートル土をかぶせるよ。で、今の御説明だと、引き出すのは1.86。

何か私、図面が、頭の中で想像なんですけど、何か名古屋の市営地下鉄で桜通線が一番深くて、何層にも地下、通っているじゃないですか。それと同じで、単純に水道管とこの今度埋める水槽の排水と高さが違うのであれば、こちらの補強はやぐらで必要かもしれないんですが、移設までは必要じゃないんじゃないかなというふうに思うわけですが、違いますか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） グラウンド外の部分のコンクリートの施設でございます。外寸でいうと1メートルぐらい増えるわけですし、掘削の中にも入ってまいりますので、支障となることが分かった次第でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 単純に地表面、上から丸ごと掘って、空っぽのところにただ落とすように施工するような感じだから、上から見て浅い位置にあるものは全部邪魔ということでしょう、要は。で、今、ふじえ委員が疑問を持たれているような、完成した形で立体交差してても、施工を最初からやるのは上からで全部なので、下にあるのは別に構わないけど、上から邪魔になるものがもしあったら全部邪魔ということでしょう、多分。違う。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） そうです。施工時にはトンネル掘るようなことはできませんので、上から掘っていきますので支障となります。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 じゃ、この工事が終わった後は、この水道管というのはもう廃止ということですか。移設というのは、どこに移設するんですか。その辺ちょっと理解が、ごめんなさい。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 補償移転となりますけども、この部分は一部廃止することを、水道企業団さんが設計しておりますけど、違う道路の側のほうの本管を使って、この施設内のものはもう廃止するということを聞いております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 今の水道管についてなんですけど、私が事前に聞き取りしたときに、メーターか何かあって、それを移動しなきゃいけないってお聞きしたんですけど、それは、今、今度邪魔になっているというところにメーターがあるから違うところへ移すという、そういう工事もあるということでしょうか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 企業団から費用負担、概算でいただいておりますけども、メーターも移設になるとは考えております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 この移転補償費の209万円というのは、どういう式があるんでしょうか。長さとか、どういった根拠、積算根拠をお願いします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 基本的には工事費となりますが、管の経過年数、これが耐用年数に対して何年たっているかというのもございまして、減耗の率によって工事費も算定されております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ちなみに、この水道管の耐用年数とか経過年数というのはどのぐらいたっているんですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 企業団の資料によりますと、60年の耐用年数のうち47年ほどたっている、50年近くたっているという施設でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 これ、また最初に戻ってしまうというか、そもそもの話なんですけど、いろんなものを、構造物を造るときには試掘をするという、とは限らないかもしれないですけど、今回これ、試掘をするのは、そもそもどういう目的、調査のためにしたのかというのをちょっとお聞きしたいんですけど。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 土質の調査というのもございますし、汚染物質がないかというところも調査出しております。あとは断面を確認したというところがございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 これは仮の話というか、たればになっちゃうんですけど、万一、汚染物質とか、調査の、設計の試掘のときにそういったものが出てきた場合、計画を中止するという、そういうことも、ちょっと外れているかもしれないですけど。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 浅井副委員長、すいません、議案にちょっと即してないかと思うので、質問内容を変えてください。

○浅井たかお委員 分かりました。すいません。では、失礼しました。

じゃ、産廃はどんなものがほかに、コンクリートが今ちょっと大分、主なんですけど、ほかにどんなものがあるかということを、説明お願いします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 大部分はコンクリートというのを確認しておりますが、アスファルト、木くず、瓦等でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 グラウンドの用地を所有者変更、名義変更をするとき、購入する時点では、用地となるところはどのような状態だったのでしょうか。埋め立ててあったのか、そ

れかそのほかの状態だったのか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁できますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ちょっと当時の状況は分かりかねる部分がございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 これも事前にちょっとお聞きしたときに、お聞きしたんですけど、この工事発注時、試掘箇所5、6、7とあるんですが、この6、7はもともと試掘する予定だったんですけど、5番については当別発注で市のほうが調べたというふうでお聞きしたんですけど、これは間違いはないですかね。私がちょっとお聞きしたいんですけど、直接。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちら、①から④までと同じ業者に対して追加で発注しました。これはグラウンド外、ちょっと舗装がしてある部分で構成が違うというのもございますし、他現場で土が使えるかというところを調査したところもございますが、追加で5番は発注いたしました。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 それでは、ちょっと確認なんですけど、この場所に産廃が埋まっているだろうという、そういう想像というか、想定というのは、事前には分からなかったのでしょうか。ちょっと確認というか、繰り返しになるかもしれないんですけど。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 当初設計で見たコンクリートがらの量は28立米、立方メートルというところは想定しておりましたが、それ以上のものはちょっと想定できなかった部分でございます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 現地で見たんですけれども、大きな砂、土の山がぼんぼんとすごい大きいのと、あとブルーシートで覆われた山もどんどんとあったんですが、あれ、ブルーシートで覆っているものは廃棄物何ですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） グラウンドを改修したときに表土、水はけのいい砂に変えてありますが、そういった良質な土はかき出してよけておいて、再利用するためにシートをかぶせて保管しております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、工事の期間が約半年以上の延びる案ですけれども、これ、グラウンドを使う方たちへのまた理解や説明や協力とかというのは、どういうふうに行っているんですか。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 大変申し訳ないですけど、予約がさらに取れないような状態をお願いしまして、既に予約の入っているものは、申し訳ないんですが、お断りさせていただいて、施設管理者のほうにもそういった説明をしております。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

浅井副委員長。

○浅井たかお委員 議案28号に反対です。

今回あきれてしまって、ちょっと初め言葉が見つかりませんでした。

まず、この重大な事態により莫大な産廃処理費用が発生して、さらに工事期間が延びることで、今後グラウンドの利用が制限されることでの使用料補償金も発生してしまいます。費用対効果を考えると、この莫大な費用をかけてまで、時間雨量63ミリに対応するための防災池をここに設置する意味があるのかと思ってしまいます。

もともとこの勅使グラウンドの防災調整池の工事に対して、10年確率の降雨、時間雨量にして、繰り返しですが、63ミリを前提とした施設整備で不十分ということは指摘をしてきました。しっかり土質調査をして、地下にここまでの大量な廃棄物が埋まっていたと分かっていたら、ここに防災調整池を設置することを決めたのでしょうか。もっと効率のよい

方法があると思います。事前調査が不十分であり、約6,000万円も設計業務委託にかけていますが、その責任を全く問う様子也没有ありません。

さらに、産業廃棄物は投棄者に責任を求めるのが本来です。投棄者を特定し、投棄者に損害賠償請求を検討をすべきです。そういった考えもなく、市民が納めている大事な税金を使うのは間違っています。こんな2億7,000万円もの無駄遣いを許すわけにはいきません。よって、この議案に反対をいたします。

29号も同じく、議案28号と同じ理由から反対をします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 議案28号、29号に賛成の討論をします。

まず、実際の現場の地面の下の状況について、何らかの形で予見ができなかったかということが皆さんの議論にもなっていたし、自分の1つの観点でもあったんですけど、試掘を実際した上で、ちょっとしゃべりづらいけど、何十年って、要するに俺ら生まれるようなもっと前ぐらいの人たちが大変よろしくないことをやっていたということでしょう。たまたまこの場所をこういう活用の仕方と必要な工事やったらぶちまけられたということでしょう。それは、何か言いづらいけど、仕方がないというか、その分かったところからどうにかするしかないということなんだろうと思うんですけど。

もちろんその上で、より正確に、その分量を想定するための工夫や努力というのは、何人かの議員さんから出た、そういう年齢層の人のいろいろな調査、聞き取りとかをできる限りやるとかというのは、もっと工夫や努力をなさったほうがいいとは感じました。

もう一個は、もっとひどい話も思い浮かんで、掘る深さとかのほうは聞いた話で分かりましたが、今から実際掘っていくところに、月岡議員がおっしゃるような鉄くずとか、ないほうがいいけど、注射器の針だの、何かそんなレベルのがもっとあるようだと、もっとひどい手だてと金額になると思うんです。だから、何かそういう、やってってより何かよろしくないほうに分かることへの何か対策とか準備というのも引き続きやっていただきたいし、毎度お話ししてるんですけど、もう半分側もあるわけじゃないですか。今回のこの事業に対して、こんだけの状況になっていたというデータをまとめて、今後の市のこういう事業のための基礎的な計画のためのデータにして生かしてほしいというのは、もうこれまでいろんな工事で言ってきたことと同じなので、ぜひ今回もそれはやってほしいと思っています。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

月岡委員。

○月岡修一委員 議案第28号、29号共に賛成の立場で討論を申し上げますが、副委員長が言うように、過去の不法投棄者とかそういった人たちを探し出すなんていう、30年、40年、ひょっとしたら50年前のそんな出来事は全くナンセンスな考え方で、時代とともに、豊明を含めて、北海道なんか特にそうですけど、もう何ともならん湿地帯はそうやって自然的に埋められてきて、現在はきれいな公園になったりしているわけですから、それは仕方ないのかなと思う。

とにかく、雨水対策の施設をここに設置したことがいかんようなことをおっしゃいますけど、それは決して僕は間違っていないと思います。これだけの広い面積を活用してやろうと思ったら、このグラウンドを活用するしかないと思う。もっと上の畑をやったって同じようながらは出てくると思いますので、これはこれで仕方ないと思いますし、出てきたものを処理するのが今の当局の役割と、これは割り切ってやらないと仕事は前に進みませんので、その辺のことは無駄のないような施工をきちっと施工技術者に打合せをして、より早く完成することを求めていくことが肝要だろうと思います。

そういったことに今は努力をしていただくということを条件に、28号、29号には賛成とさせていただきます。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 議案第28号と29号について、反対の立場で討論いたします。

詳しくは本会議場で述べるんですけども、一言だけ申し上げますと、設計業者に委託してやっている、これだけの大きな大幅ながらの、想定外はあるにしても、あまりにも当初の数量とかけ離れている。重機が入るような門扉を一回外さなきゃいけない、それをまた復旧しなきゃいけないとか、初めからそれはもう分かることだと思います。

なので、こういった不足分を設計業者にきちんと、半分持つだとか、そういうきちっとした交渉をしていただきたかったですけれども、そういうふうには御答弁からは、業者のほうには、設計業者にも責任がないというような答弁でした。それは市民にとっても理解されることではないと思います。

以上です。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 議案第28号、29号、両議案に対して賛成の立場で討論いたしますが。

金額的、ボリューム的にというところでいうと、大変大きな額かな、大きな量かなとは

思うんですが、私、ちょっと質疑で聞いたのは、工期。これ、1シーズンの台風シーズンをまたまたいでしまうということで、やはり今まで一般質問ずっとしてきたんですけど、やっぱり中央学区というのは境川下流域ということで、早くやはり水の対策というのはしていただきたかったというのがありまして、それがやっと今動き出した。この件についてはやってもらうこと自体が賛成なので、なるべくスムーズに、搬出でこれぐらいかかるのかなというぐらいの想像はつくんですけど、やはり下流域の安心・安全を考えると、これは絶対大切な事業だと思っておりますので、よろしくお願い申し上げまして、賛成の討論といたします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 議案第28号及び議案第29号に賛成の立場から討論をさせていただきます。

今回の防災調整池設置工事において、工事途中で多量の廃棄物が発見され、その除去に追加費用が必要となりました。これは当初、設計段階では想定し得なかった事態であり、誰が埋めたとか、どこが埋めたとか、損害賠償とか、そういうことではなく、いち早く対応する必要があるため、賛成といたします。

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

初めに、議案第28号について採決を行います。

議案第28号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 賛成多数であります。よって、議案第28号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第29号について、採決を行います。

議案第29号は原案のとおりに決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） 賛成多数であります。よって、議案第29号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（青木けんじ議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて建設文教委員会を閉会いたします。

午後2時7分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

建設文教委員会

委員長